

公益財団法人 新潟県国際交流協会

NIA LETTER

Niigata
International
Association

vol.29
2025.03

令和6年度国際理解教育
プレゼンテーションコンテスト



冬の魚沼にほんご交流会



やさしい日本語研修
(胎内市)



Contents
特集
P2

誰でも **学べる** いつでも **つながる**
日本語教育を目指して!

- ◆ NIA活動レポート
- ◆ NIAインフォメーション1
- ◆ 新潟県国際交流員(CIR) 退任メッセージ
- ◆ 新潟県外国人総合相談センター 外国人相談の窓から
- ◆ NIAインフォメーション2

発行:公益財団法人 新潟県国際交流協会

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル2階 TEL:025-290-5650 FAX:025-249-8122

E-mail: nia21c@niigata-ia.or.jp

Webサイト: <https://www.niigata-ia.or.jp>





誰でも **学べる** いつでも **つながる** 地域の日本語教育を目指して!

1 新潟県の日本語教育の現状

新潟県では、外国人住民が地域社会の一員として自立した生活を円滑に送ることができる社会の実現と、地域の活力向上のため、令和6年3月に「新潟県における日本語教育の推進に関する基本的な方針」(以下「県の方針」といいます。)を策定しました。

県の方針では、「誰でも学べる いつでもつながる 住んでよしの新潟県」をスローガンに、「どのライフステージにある外国人等にも、その希望や能力に応じた日本語学習の機会が最大限に確保され、全ての外国人等が安心・安全に暮らすことができる地域社会の実現」と、「日本人住民と外国人住民双方に対して

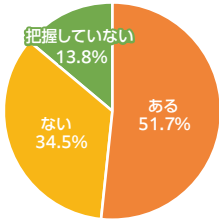
円滑なコミュニケーションを促すことにより、相互理解・相互協力を深め、多様性に富んだ活力ある地域社会の実現」を目指すことが明記されています。

そのため、県では「1. 多様なニーズに応じた学習機会の充実」「2. 日本語教育人材の確保及び資質の向上」「3. 県民の理解と関心の増進、情報発信」の三本柱に従い、令和6年度から新たな取組をスタートしました。

これらの取組を進めるにあたり、令和6年8月以降、市町村、日本語教室、日本語教師を対象に実態調査を実施しました。

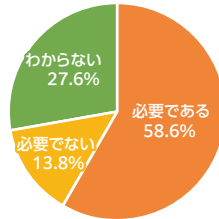
1 市町村対象調査 (政令指定都市を除く29市町村対象:回答率100%)

日本語教室の有無



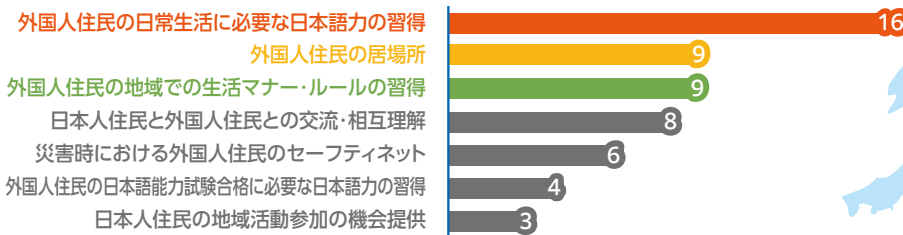
県内約半数の市町村は日本語教室がない、または開設状況が不明であることがわかりました。また、日本語教室があるとされる市町村でも、交通事情、気象状況などによって教室に通えない人も多くいることが想定されます。

市町村の日本語教室の必要性



約59%の市町村が日本語教室が「必要である」と回答しています。特に、すでに日本語教室がある全ての市町村が「必要である」と回答しています。一方で、約14%が「必要でない」と回答しており、その理由として「外国人からのニーズがないから」「外国人が少ないから」が挙げられました。

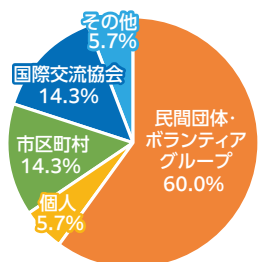
日本語教室が「必要である」と回答した市町村が考える地域の日本語教室に求められる役割(複数回答可)



「日常生活に必要な日本語力」に次いで「外国人住民の居場所」と「生活マナー・ルールの習得」、「相互交流・理解」が多くなっています。日本語力と同時に、地域と関わるための窓口の役割も求められていることがわかりました。

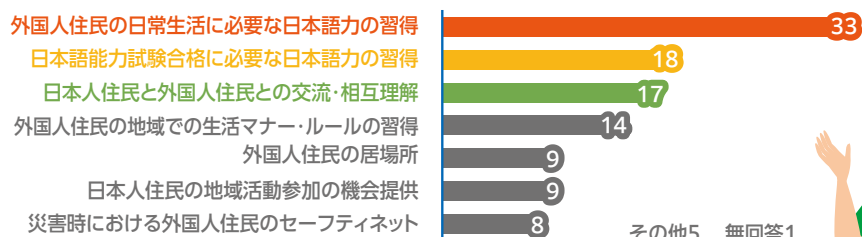
2 地域日本語教室対象調査 (新潟県国際交流協会が把握する41か所対象:回答率85%)

教室の主催者



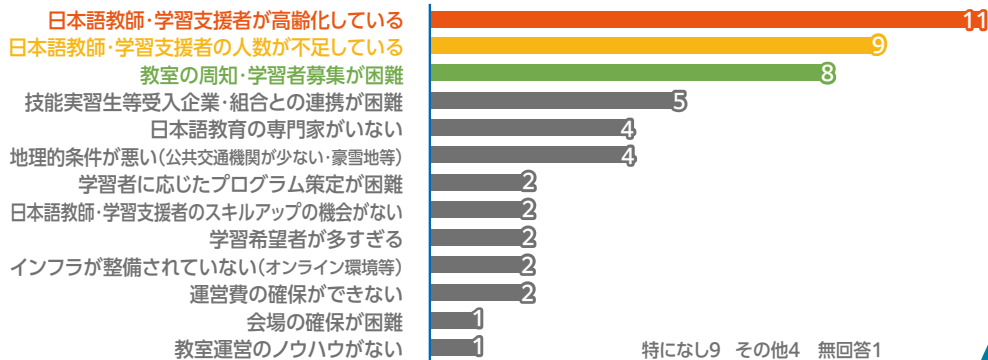
地域の日本語教室の60%が民間団体やボランティアグループによって担われていることがわかりました。

教室の活動目的(複数回答可)



教室の活動目的では「日常生活に必要な日本語力の習得」に次いで「日本語能力試験合格に必要な日本語力の習得」が多くなりました。地域の日本語教室に高いレベルの日本語教育が求められていることが想像されます。「その他」では、外国につながる児童生徒への日本語支援や日常生活の支援などが挙げられました。

教室の課題(複数回答可)

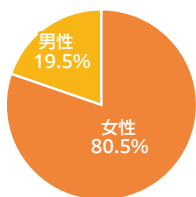


教室の課題としてスタッフの高齢化や人材不足を挙げる教室が多い結果となりました。新たな人材の発掘・育成が課題となっています。



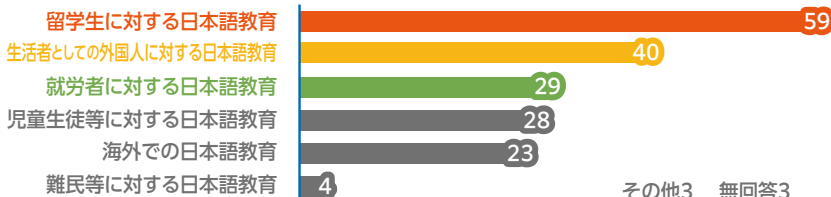
3 日本語教師対象調査(資格の有無や経験を問わず、県内に在住する日本語教師対象:回答87名)

男女比



アンケートに回答した日本語教師は約80%が女性、男性は約20%でした。

活動分野「得意分野」(複数回答可)



専門知識を持つ日本語教師は大学等に通う留学生への日本語教育に携わる方が最も多くなりました。一方で、オンラインを使い、海外の学習者に日本語を教えている日本語教師も一定数いることがわかりました。自由記述欄には、所属機関以外の情報の入手が難しく、県全体の状況や取組が分かりにくいといった声や、専門的な資格に見合った待遇が期待できないといった意見が多く聞かれました。

2 新潟県の取組

県では、令和6年度、文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、地域の日本語教育を推進するため、新潟県国際交流協会への委託により、下記の事業に取組んでいます。

- 1 本県の日本語教育の実態把握及び課題の整理・分析
 - 2 本県における日本語教室空白地域の在り方の検討
 - 3 本県の地域日本語教育コーディネーターの配置や役割の検討
 - 4 市町村等と連携した日本語教育の推進に係る取組
 - 5 市町村職員への意識啓発
 - 6 日本語教室間のネットワーク構築
- ②③④では、県内の有識者3名に多方面から指導・助言・支援をいただいています。



日本語教室懇談会(令和6年11月7日(木)新潟市中央区)



3 多様なニーズに応じた日本語教育とは

仕事に必要な日本語、学校の勉強や進学に必要な日本語、地域で暮らしていくために必要な日本語など、外国人の日本語学習へのニーズは実に多様です。また、レベルも生活スタイルも様々で、個々のニーズに応じた日本語学習方法も多様化させていく必要があります。

なかでもオンラインによる日本語学習は、日本語教室が近くにない地域に暮らす外国人や、新潟県のように豪雪など天候によって教室に通うことが難しい外国人にとっては、ありがたい存在かもしれません。

また、日常生活や自己表現のための日本語を身に付けるとともに、社会とのつながりを生み出すことが期待される「教えない日本語教室」も近年注目を集めています。テキストを使った学習にこだわらず、学習者と支援者が対等な関係で日本語でコミュニケーションを取りながら相互に学び合うことから、多文化共生社会の実現にも寄与するといわれています。

今年度、市町村と連携した取組として、魚沼市との共催により、このような対話交流型の日本語活動をモデル的に実施しました。参加者からは「とても楽しかったので、今後もぜひ続けてほしい」(学習者)、「日本語学習を頑張っている外国人を素晴らしいと思った」「魚沼での生活を好きになってほしい」(支援者)など、好意的な声が多く聞かれました。

今後、地域の状況に応じた多様な取組みが各地で展開されることに期待したいですね。



「冬の魚沼にほんご交流会」

室内で冬の困りごとなどについて話し合った後、チーム対抗「雪だるまコンテスト」を開催!



国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

令和6年12月21日(土)、朱鷺メッセ国際会議室(マリンホール)(新潟市中央区)で令和6年度国際理解教育プレゼンテーションコンテストを開催しました。今年は、中学生部門7チームと高校生部門16チームが出場し、日頃の学習や活動の成果を発表しました。また、コンテストには10名のアースサポーターや留学生の皆さんがボランティアとして参加し、スムーズな運営に協力してくれました。各部門の受賞結果は下記のとおりです。



中学生部門



👑 最優秀賞

あっぴるポップコーン(新潟市立下山中学校)
「[区別]と[差別]、何が違う?」

👑 優秀賞

・新潟市立早通中学校(新潟市立早通中学校)
「教育が世界を変える」
・Lucky Clovers((公財)長岡市国際交流協会)
「Circle×Triangle ~私が認められる世界~」

👑 審査員奨励賞

該当なし

高校生部門



👑 最優秀賞

目黒商事三条支店(新潟県立三条商業高等学校)
「プロジェクトFT~FT商品販売拡大に挑戦する高校生達~」

👑 優秀賞

・GLOCAL部(新潟県立燕中等教育学校)
「プラスチックは+(プラス)チック?」
・Teny(長岡工業高等専門学校)
「言語ではなく、世界標準という言葉で」

👑 審査員奨励賞

BLACK PINK(上越高等学校)「respect black culture」

外国人対応のコツ!やさしい日本語研修会

在住外国人の増加に伴い、行政窓口では外国人対応を行う機会が増えたり、企業では外国人を雇用したりすることが増えてきています。今年度は令和4年度から開催してきた行政職員等を対象とした研修会に、新しく企業を対象とした研修会を加え、県内で合わせて3か所でやさしい日本語研修会を開催しました。

研修会では、講師の早稲田大学大学院日本語教育研究科柳田直美教授から、やさしい日本語が必要な背景などについてクイズを交えながらお話を伺った後、在住外国人を交えたグループワークを行いました。基礎編では外国人対応の様子をビデオで見ながら客観的に評価するワークを行い、実践編

では行政窓口で実際に使用されている文書や、企業で良く使う表現をやさしい日本語に言い換えたり書き換えたりするワークを行いました。

各会場ともに多くの方から参加いただき、活気に満ちた研修となりました。参加者からは、「普段使っている言葉が、外国人にとっては伝わりにくいということに気付くことができた。」「在住外国人の方と一緒にグループワークに取り組み、生の声を聞くことができたので、貴重な機会だった。」「外国人だけでなく、日本人にもやさしい日本語を使うことが大切だと思った。誰が相手でも、相手の立場に立って伝え方を考えることの重要性を学んだ。」などの声をいただき、大変好評でした。



11月25日 胎内市会場



12月8日 糸魚川市会場



12月9日 見附市会場

アジアから世界を知る!

新潟県内5会場で、外国の歴史や文化について講師がお話しする国際理解セミナー「アジアから世界を知る!」を開催しました。会場・オンラインのべ182名が参加しました。

柏崎市 (公財)柏崎地域国際化協会
「多様性と調和の国インドネシア」 10月6日(日)
 (公財)柏崎地域国際化協会 言語文化サポーター
 アグネス マリア リナ イステリアニ氏



10月6日 柏崎市会場



11月3日 胎内市会場



12月1日 新潟市西区会場

新潟市北区 新潟医療福祉大学
「留学生が語る!各国の魅力と文化の違い
「タイ・ベトナム・スリランカ」 10月13日(日)
 新潟医療福祉大学 留学生

上越市 (公社)上越国際交流協会
「上越から世界へのチャレンジ
～シンガポール展開の実情～」 11月8日(金)
 株式会社宮崎商店 取締役副社長 宮崎 富夫 氏



胎内市 新潟食料農業大学
「中国の食と農」 11月3日(日・祝)
 新潟食料農業大学 講師
 車 競飛 氏、中国人留学生



新潟市西区 新潟国際情報大学
「台湾と日本の絆を探る旅へようこそ」 12月1日(日)
 SABC International corporation
 ジェネラルマネージャー 河浦 美絵子 氏

外国につながる子どもの支援を考える研修会

令和6年12月16日(月)、令和6年度第1回外国につながる子どもたちへの支援を考える研修会として、「新潟県内の支援状況報告会とイスラム圏の児童生徒の受入れに関する勉強会」をオンラインにより開催し、44名の方にご参加いただきました。

研修会の後半には、新潟県内で年々増加しているイスラム圏にルーツを持つ子ども達に焦点をあて、先進的な取り組みをしている宮城県国際化協会から、イスラム圏出身の児童生徒を受け入れる学校でどのような配慮を必要としたのかなどについてお話を伺いました。参加者からは、「生活習慣が全く異なる生徒への対応の大切さを再認識した。」「いずれイスラム圏出身の方に出会うこともあると思うので、対応の事例が大変参考になった。」「とても勉強になったので、今後の支援の参考にしたい。」などの声をいただきました。

教育現場におけるイスラム圏児童・生徒の受入れに関する事例集

- ・新たに受け入れる学校や先生の参考材料、各校の事例が前例として活用できる。
- ・答えはひとつではない保護者や本人の意向を確認し、着地点を探す。
- ・そのためにも保護者の本人との話し合いには配慮が必要では?



外国人生活相談担当者実務研修会

毎年、新潟県との共催で開催している「外国人生活相談担当者実務研修会」を令和6年11月10日(日)新潟大学駅南キャンパスときめいと(新潟市中央区)で開催しました。県内在住外国人は年々増加傾向にあり、相談内容も多様化・複雑化しており、相談員の相談技術の向上や、様々な関係機関等との連携強化が必要となっています。

今回は、『外国人も安心して暮らせる新潟県のために～事例検討から考える外国人相談事業のポイント～』と題しての講義と、参加者で意見交換を行いました。講義では、外

国人労働者や雇用に関する相談、外国人の抱える壁や様々な相談の背景など、相談業務において重要なポイントを学びました。

参加者は、県内国際交流協会や外国人相談に携わっている相談員、通訳員や、社会福祉協議会職員、行政書士や弁護士など、在住外国人と接する機会の多い22名が参加し、今後も在住外国人を連携しサポートしていくことを参加者全員で確認しました。

講義 『外国人も安心して暮らせる新潟県のために～事例検討から考える外国人相談事業のポイント～』

講師 一般財団法人 自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー
 堀 永乃 氏 (一般社団法人グローバル人財サポート浜松 代表理事)



NIAサポーター制度新設のお知らせ

～4月からコミュニティ通訳サポーターの紹介制度が始まります～



新潟県国際交流協会では、幅広い県民の参加による国際交流、国際協力及び多文化共生の地域づくりを推進するため、その一環として、令和7年度から「NIAサポーター制度」を新設します。「コミュニティ通訳(※)サポーター」は、言葉の橋渡しをすることによって、県内の在住外国人と行政・教育機関間の円滑なコミュニケーションを支援します。また、「交流サポーター」及び「アースサポーター」は、県内の民間団体や市町村等が実施する国際交流や国際協力等の活動をサポートします。

は2024年6月末時点で2万2,139人となりました。様々な生活場面で、母語による支援の必要性が高まっています。県内の在住外国人が安心して暮らせるようにするため、これまでの「国際交流ボランティア制度」の活動に、新たに市町村の窓口や小中学校での通訳を加え、新しい制度として始めます。市役所等で行われる手続きや、学校の三者面談等で通訳が必要な場合は、指定の機関からの依頼により、「NIAサポーター制度」に登録の「コミュニティ通訳サポーター」を紹介します。

新潟県に住む外国人の数は年々増加しており、在留外国人数

? コミュニティ通訳とは

言語や文化の違いによって情報が正しく伝わらない人をサポートするための通訳活動です。特に、医療機関、行政サービス、学校、裁判所などの公的な場面で必要とされ、在住外国人の増加に伴い、需要が高まっている分野です。コミュニティ通訳の役割は、「言葉の壁をなくすこと」「文化の違いを橋渡しすること」「公平なサービスの提供を支援すること」等があります。

NIAサポーター制度における「コミュニティ通訳サポーター」の種類

- コミュニティ通訳サポーター(行政分野) 市町村の各種窓口業務に係る通訳
- コミュニティ通訳サポーター(教育分野) 市町村立小中学校における保護者・児童生徒と学校間の通訳

※コミュニティ通訳サポーターを含む「NIAサポーター」制度の詳細については、下記の一覧及び当協会ホームページをご覧ください。(登録及び依頼条件があります。)



ホームページ

<p>コミュニティ通訳サポーター (行政分野)</p>	<p>活動内容 市町村の各種窓口業務に係る通訳 例 住民登録・転出入に係る手続き、妊娠・出産・子育てに係る手続き、国民健康保険・年金・介護保険に係る手続き等</p> <p>時間 平日午前9時～午後5時(1回の派遣は2時間以内)</p> <p>場所 県内の市区役所、町村役場</p>	
<p>コミュニティ通訳サポーター (教育分野)</p>	<p>活動内容 市町村立小中学校における保護者・児童生徒と学校間の通訳 例 入学や入学前のオリエンテーション、三者面談、家庭訪問等</p> <p>時間 平日午前9時～午後5時(1回の派遣は2時間以内)</p> <p>場所 市町村立小学校、中学校</p>	
<p>交流サポーター</p>	<p>活動内容 国際交流や国際協力等の活動における簡単な挨拶や会話等の通訳や翻訳等 例 国際交流イベントでの通訳、子供向け多言語絵本の翻訳等</p> <p>時間 依頼者指定の日時及び県内の場所</p> <p>場所 (原則、休憩を含め1日8時間以内)</p>	
<p>アースサポーター</p>	<p>活動内容 国際交流、国際協力等の企画、運営に係る補助 例 国際理解講座、国際交流イベント等</p> <p>時間 依頼者指定の日時及び県内の場所</p> <p>場所 (原則、休憩を含め1日8時間以内)</p>	

新潟県国際交流員(CIR)



ユ珉亨さん 退任メッセージ

令和2(2020)年12月に新潟県に着任した韓国の国際交流員(CIR)ユ珉亨さんが4年4カ月の任期を終え、この春退任されます。在任中、県内の学校での国際交流出前講座や当協会の国際交流プラザフェアをはじめとした県内各地域でのイベントなど、数多くの国際交流事業に取り組まれてきたユさんに、新潟での思い出などを伺いました。

出身地 大韓民国 議政府市

趣味・特技 散歩、グルメ巡り



ユ ミヒョン
ユ珉亨さん

国際交流員(CIR)について
新潟県庁ホームページ▶▶



初めて新潟に来た時の印象と、4年間過ごした後の印象の変化を教えてください。

もっと田舎のイメージを想像していたのですが、新潟駅も新しくなり、暮らしやすいと思うようになりました。また、雪がたくさん降って天気が悪いと聞いたので、憂鬱な人が多そうなイメージでしたが、明るく、心温かい人が多いと思います。

国際交流員の仕事で特に印象深かったことを教えてください。

小学校でアメリカ、ロシアの国際交流員と一緒に、それぞれの国について紹介する国際交流出前講座を行ったことです。講座では、韓国語での自己紹介、ハングルで名前を書く、伝統遊びの体験などをしたのですが、とても楽しかったです。



出前講座にて

新潟県で暮らした中で、特に思い出深い出来事を教えてください。



津南町でのランタン体験

津南町のランタン上げを体験するバスツアーです。初めて会ったおばさんと一緒に願いを書いて、ランタンを飛ばしました。一斉に上がる数百のランタンの様子がとても綺麗でした。ぜひ、韓国人の旅行客にも体験してほしいです。



日本酒試飲イベントにて
(ユさんは右手前)

新潟県がより国際化を進めるには、どのようなことが必要だと考えますか。

新潟県に住んでいる外国人と地元の住民が気軽に交流できる機会をたくさん作ることです。例えば、富山県の「JET世界まつり」や鳥取県の「鳥取で交流地域を体験!レストランフェア」など。大きなイベントでなくても、一緒に楽しめる場が増えたらいいと思います。

CIR退任後の予定や将来の夢などを聞かせてください。

新潟県での4年間の国際交流員の経験を活かし、今後も、何らかの形で日本と韓国を結ぶ仕事をしたいと思います。将来の夢は、いつか、沖縄県で美しい海を眺めながら写真を撮ったり随筆を書いたりすることです(笑)。



大地の芸術祭にて

最後に、新潟県の皆さんにメッセージをお願いします。

バスで両替してくれた人、「ご苦労様」とヤスダヨーグルトをくれた人、親切に道を教えてくれた人。日本に住んでいる外国人には忘れられない思い出です。同じく、何気ない行動が、一生の傷になることもあります。「外国人」ではなく、「人」として接する新潟県になることを願っています。

ユさん、これからもお元気で、日本と韓国の架け橋になってください!

ご縁があればまた巡り会って、ありがとうございました。ユ

にいがたけんがいこくじんそうごうそうだんせんたー がいこくじんそうだんせんたー つうしん
新潟県外国人総合相談センター外国人相談センター通信
がいこくじん そうだん まど
外国人相談の窓から



お困りの方がいたら外国人相談センターへ

外国にルーツを持つ方、そのご家族、ご関係者の皆様のさまざまな悩みごとを多言語で相談できる窓口です。

公的機関・関係機関と連携しているので、必要な窓口につなぐことで問題解決をサポートします。

プライバシーは厳守されます。

お気軽にご相談ください。

詳しい情報は
こちら▶▶▶



相談方法

来所 ▶ 新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル2階

TEL ▶ 025-241-1881 E-MAIL ▶ nia10@niigata-ia.or.jp

オンライン ▶ 事前に電話かメールで連絡してください。

※専門相談(入管、法律、行政書士)はWebサイトから予約できます。

相談できる曜日と時間

月曜～金曜 10:00～17:00 (相談の受付時間は16:30まで)

※土日祝日および年末年始は閉館

相談できる言語

7言語 ▶ 日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ロシア語
ほか ほか ほか ほか ほか ほか ほか
※他に翻訳機などを利用することで85言語に対応



NIA インフォメーション 2



賛助会員募集中!

当協会の事業は多くの県民の皆様の支援によって支えられています。事業にご理解とご賛同をいただき、ぜひ賛助会員にご加入ください。

賛助会費(会員期間 4月から翌年3月末まで)

個人会費 1口 3,000円 団体会費 1口 10,000円

1 入館助成券を使っておトクに県立施設を観覧できます

県内4施設(近代美術館、万代島美術館、歴史博物館、自然科学館)の入館助成券(300円×5枚)がもらえます!

2 国旗・民族衣装を借りられます

国旗はなんと195カ国分を保有!民族衣装はアジアを中心として、子ども向けのサイズも多々あります。

3 国際交流プラザの貸出

団体会員向けに、会議・研修・語学教室などご利用いただけます。フリーWifi、プロジェクターもあります♪

4 その他各種特典があります

HPで詳細をご確認ください。

令和7年度会員
受付中です!



賛助会員

NIAメールマガジン機能で 防災メールを多言語で閲覧できます!



NIAメールマガジン機能で防災メールを多言語で閲覧できます!

メールマガジンに登録すると、毎月1回、協会からのお知らせや県内のイベント情報を入手できるほか、自治体が発行する防災メールを受信することができます。

メールマガジンの登録時に防災メールの受信設定をすると、通知に記載されたURLからホームページを介した翻訳機能で、県内16市町村の防災メールの情報をいち早く多言語でご覧いただけます。すでに登録している方も追加で設定することが可能です。



メールマガジン

防災情報が掲載されたURLを配信!
ここから多言語で閲覧できます。



新潟・国際協力ふれあい基金への募金のお願い

新潟・国際協力ふれあい基金は、新潟県や県民の皆さまからの募金や新潟県からの寄付金の運用益により、NGO(非政府組織)やボランティアの皆さんの発展途上地域における国際協力活動等を支援しています。

支援実績

新潟・国際協力ふれあい基金が創設された平成7年から令和6年度までの30年間で、助成件数は約250件、助成累計額は約2億円になっています。



新潟・国際協力
ふれあい基金



募金の方法

銀行振込

名義人 公益財団法人新潟県国際交流協会 理事長 中山輝也

第四北越銀行
県庁支店

大光銀行
新潟支店

ゆうちょ銀行

普通

1182400

普通

836608

振替口座
(県庁内郵便局)

00680-1-16112

※専用の振込用紙で上記銀行の本支店から振込をいただく場合は、手数料はかかりません。

募金箱

(公財)新潟県国際交流協会、県生協売店、県内の「道の駅」「日帰り温泉・宿泊施設」などに設置(約110か所)

直接窓口を持参

(公財)新潟県国際交流協会に持参